

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	高橋 正	作成日	2026/5/7
----	-------------	----	------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
基礎数学	基盤教育科目	I	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
情報倫理	基盤教育科目	I	
基礎数学	基盤教育科目	I	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

本学では、数学が不得意だった学生が多い。そのような学生は「自分は数学ができない」という劣等感を抱いている。そして、どこができないのか、どのようにすれば理解できるのか、という発想そのものからも逃避する傾向がある。しかし、少しずつ自分のペースで理解することを繰り返せば、苦手意識は薄らぎ、大学での学びが自分の興味・関心を深める場であること、社会的関心を深め社会の中で自分が果たす役割を自覚すること、友人との学び合いができる「楽しい」学びの場であることを実感できるようになる。授業においては、そのような学生は、少数ではあるが存在する。そういう意識のある学生を一人でも増えることを心がけ基礎・基本を丁寧に説明する授業を心がけています。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、基礎数学は DP2-I（基本リテラシー）「数的思考力」の育成、情報倫理は DP2-I（基本リテラシー）「基礎的な ICT 活用力」の育成に力点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	中川 恵	作成日	2026/5/22
----	-------------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
国際メディア論Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	第1Q
国際メディア論Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	第2Q
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
地域研究D	専門教育科目（現代社会）	2	第3Q
国際関係論	専門教育科目（現代社会）	2	第4Q
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

現代社会において多様性尊重の重要性は広く認識されていますが、実際には国内外を問わず、様々な形での紛争や対立が存在しています。

大学入学までの大半もしくはすべての時期を日本国内のみで過ごした日本人学生、また母国と唯一の外国として日本での滞在経験に限定される留学生に対し、広く世界の文化や社会の成り立ち、現状に目を向けてもらい、またメディアによる報道や伝え方の特徴を知ることによって大量に流れる情報の受け止め方、そして発信の仕方を修得してもらえよう留意した授業を心がけています。

学生には、本学の建学の精神である「自由・自主・自律・個性尊重」の精神を持って、真実を探究する大切さを卒業時には自らのものとして体得して巣立ってほしいと考えています。卒業後の社会は、現在より多様な背景を持つ人々が共生する必要が大きくなっていると考えられますので、異文化を初めとして、自らとは異なるバックグラウンドを理解し、共生社会を担うことのできる人材を育成することに力点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	にしゃんた	作成日	2026/5/1
----	-------------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
知識社会論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
共生社会論	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
放送メディア特別講義D	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
ボランティア論	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
共生社会論	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

学生とのコミュニケーション、および教育のあり方に難しさを感じています。留学生は同国出身者同士で固まる傾向があり、日本語能力の低下が顕著です。日本人学生も対人スキルの不足が目立ち、教室内に国籍ごとの「棲み分け」が生じていることで、本校の強みである国際的な環境が十分に活用されていません。また、座学のみでは学生の理解度を正確に把握しにくいいため、可能な限りフィールドワークを取り入れ、現場での体験を重視するよう心掛けています。

こうした現状を踏まえ、地域社会の素材を活用した学びや学外活動を通じて「共生」の意義を体感的に理解させるとともに、授業マナーの遵守を徹底することで社会人としての基本的な心構えを養っています。これらの取り組みは、本学の使命である「共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を具現化するものであり、特に（DPI-I「知識・理解(多様性への理解)」）に掲げる、多様性を尊重し、幅広い視野で物事を捉える人材の育成に注力しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	大江 秀幸	作成日	2026/5/7
----	-------------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業制作・論文Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
データ構造とアルゴリズム	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
データベースⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
専門ゼミⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
情報ネットワーク論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
コンピュータ概論Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業制作・論文Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
情報ネットワーク演習Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
専門ゼミⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
データベースⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

情報科目は高校のカリキュラムに導入されて日が浅く、他の科目と比較して全体的に学習時間、期間が短い傾向にあります。そのため、情報は分野によっては大学からでも十分に習得が可能であり、他の科目で自信を無くしてしまっても、十分に挽回できる可能性があります。

まずは学生が情報分野への興味を失わないよう、現代社会での「情報」の活用状況を具体的に伝えつつ、卒業後に社会で自信を持って IT システム等を利活用できるよう、DP2-1（基本リテラシー）の育成を目標に進めています。

また、新たな用語や概念は、繰り返し学習することで身につくため、毎回のまとめ問題や課題を通して DP3-2（学修習慣）を意識させるような指導を心がけています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	川上 申之介	作成日	2026/5/22
----	-------------	----	--------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
プログラミング基礎Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
プログラミング応用Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
プログラミング基礎Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	2	
プログラミング応用Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
情報メディア数学Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

日常的に ICT や AI と接する機会が多い現代社会において、働いて生活していくために必要となる技術だけではなく考え方や心構えを含めて助言や導入ができるような授業を行うように心がけています。

特に専門科目では、単なる模倣ではなく学生が自ら考え解決できるよう導くことにより、能動的に考え問題解決力を育めるような距離感を保ち助言を行い、自発的な学修の定着を目指しています。

学生が就職し、社会人となっても規則正しく自立した国際人として暮らせるように、相手をリスペクトでき自分を律すること（遅刻や私語をしない、周囲への気配りができる、提出物の期限厳守）など社会人マナーの涵養も徹底しています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、基盤共通科目においては DP2-I（基本リテラシー）「自分の考えを的確に表現するための日本語運用能力、基礎的な ICT 活用力、数的思考力、外国語運用能力などの基本リテラシーを修得している。」、専門科目においては DP3-I（学修姿勢）「建学の精神、使命・目的を理解し、自らをかけがえのない存在として、常に前向きに学ぼうとする姿勢を有している。」の育成に力点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学 科	氏名	北波 英幸	作成日	2026/5/1
----	-----------------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
総合メディア論 II	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
シナリオ・絵コンテ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
取材と編集 II	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
制作概論	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
専門ゼミナール I	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナール III	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文 I	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
総合メディア論 II	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
シナリオ・絵コンテ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
映像編集応用	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナール IV	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文 II	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

メディア社会においてはラジオやテレビによる放送、およびインターネット・プラットフォーム配信など接触機会が多様化しています。また生成 AI サービスをはじめ AI が社会に実装されつつある過渡期にある現代において、誰もが情報に対して自律した取捨選択や評価・判断が求められています。よって私は DP2-1（基本リテラシー）の習得を大きなテーマとし、3つの柱を念頭におきます。

第一に「コミュニケーションのフレーム」です。送り手として何を伝えるのか（what to say）、どのように伝えるのか（how to say）、さらに受け手の姿を想定したコンテンツ制作への意識醸成を企図します。趣味の制作との違いは、コミュニケーション・プロセスを理解することです。

第二に「表現のフレーム」です。制作過程でのリサーチ、構成台本執筆・個人／グループ制作経験を通じ、DP4-1（課題解決力）や DP3-3（協働力）の育成を目指します。

第三に「表現を支える理論や技術のフレーム」です。様々なメディア論の基礎を知ることです。すぐに理解できなくとも、社会に出たのち「そういえば」と思い出せることもまた重要だと考えます。短期的視野からは評価されず、特に「即戦力」を期待されがちである就職状況調査などでも数字としては顕在化しないものの、DP4-2（生涯学習力）に通じる長期的な効果を見通した教育機会と考えます。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	田中 将徳	作成日	2026/5/25
----	-------------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
取材と編集Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
メディアリテラシー	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
取材と編集Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
放送メディア概論	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学での学びは、単なる知識や技術の習得にとどまらず、「自分の興味・関心はどこにあるのか?」「何にやりがいを感じるのか?」「自分の強みは何か?」を学生自身が探求する『自己発見』のプロセスであると考えています。私は、学生一人ひとりがこの間に向き合い、自身の可能性に気づくためのサポートを大切にします。

このような学生時代の自己発見は、卒業後、社会人として生きていく上での「充実感ややりがい」に結びつきます。社会において人が真にやりがいを持って働くためには、「誰かの役に立つ（貢献）」「認められ、感謝される（承認）」「自分自身の成長を感じる（成長）」「自ら工夫し、意思決定できる（裁量・主体性）」「目に見える成果や達成感を得る（達成）」という5つの要素が重要と言われています。放送・メディア映像学科における日々の授業や制作活動等の実践的な学びを通じて、学生がこれら5つの要素を小さな成功体験として繰り返し味わえる環境づくりを心がけます。

全学的ディプロマ・ポリシー（DP）との関係においては、本学が掲げる「自らが『かけがえのない存在』であることを認識する」を軸に、自ら工夫し決定する経験を通して目標に向かう「DP3-2（学修習慣）」を養うとともに、制作活動等の中で、役に立ち認められる（貢献・承認）喜びを実感することで、周囲と協調し自らの役割を果たす「DP3-3（協働力）」の定着を目指します。これらを通じ、将来の社会で信頼され、明確なビジョンを持って活躍できる人材を目指してもらいます。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	玉井 敏晴	作成日	2026/5/26
----	-------------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
グラフィックデザインⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
CG演習Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
CG演習Ⅲ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
映像デザイン論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
CG演習Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
コンポジット演習	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
空撮演習	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

私の教育に対する理念は、建学の精神のもと、学生一人ひとりの特性や興味を尊重し、彼らが自らの目標を追求できる環境を提供、支援し、社会に貢献できる人材を育てることにあります。

教育上の目的は、学生が主体的に学ぶ姿勢を身につけることです。授業では、知識だけでなく、思考力や創造力を養うためのアプローチを取り入れています。特に「基本リテラシー」と「自己管理能力」の育成を重視し、学生が将来の社会で自信を持って活躍できるようサポートします。学生が仲間と共に学び合い、多様な視点を持つことの重要性を理解し、成長に向けた主体的な取り組みを支援し、未来の社会を担う人材を育成に注力しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	永岡 俊哉	作成日	2026/5/25
----	-------------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
アナウンスメント基礎	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
卒業制作・論文Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
メディア産業論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
アナウンス概論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
エンターテイメント論	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
放送メディア特別講義B	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

人の生命を守る事が最も重要な使命であるメディア、特に放送業界で働く事を目指す学生に、「最も大事なことを、全ての人に対して、直ちに、正確に理解してもらうために伝えるという力」を習得してもらう事を最重要事項としてすべての講義、ゼミを行っている。

1年次では人前で話し、伝える事の重要性を理解し、その力を得てもらうために、自己紹介や自己の興味を伝える、他人に興味を持ち調べ多くの人に伝える、人前で話し理解してもらう事を反復して行わせている。また、研究者としてのスタートを切った大学生として、自分のテーマを見つける事も促している。DP2-1（基本リテラシー）DP3-2（学修習慣）相当

2年次、3年次では伝える力をさらに強化するとともに、グループで映像や音声を作り上げる事や、与えられたテーマや課題をクリアしていく事、失敗したり、間違ってしまった後にリカバーする事を行わせている。DP3-2（学修習慣）DP3-3（協働力）DP4-1（課題解決力）相当

4年次では世界で一つしかない作品を作る卒業制作を中心に、社会でも通用する能力を習得させる事や、能動的にキャリア形成していく事を促している。DP3-2（学修習慣）DP3-3（協働力）DP4-1（課題解決力）DP4-2（生涯学習力）相当

全学年を通して、放送・メディア映像学科の全ディプロマポリシーに基づいた、社会で活躍できる放送メディア人の育成を理念としている。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学 科	氏名	内田 知巳	作成日	2026/5/20
----	-----------------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
スタジオ基本操作	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
撮影技法	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
放送メディア特別講義 A(撮影特講Ⅰ)	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	第3Q
放送メディア特別講義 A(撮影特講Ⅱ)	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	第4Q
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
映像編集基礎	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
放送メディア特別講義 B(フ ァッションショー運営	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	

2. 理念

1. 段階的な学びによる専門性の修得

理論・知識の習得から実践的な演習へとスムーズに繋がる科目構成を構築する。

映像やコンテンツ制作への興味を高め、専門知識、確かな技術、メディアへの深い理解力を授ける。

2. 実践力の可視化と成長実感の付与

制作課題を積み重ね、学習成果を習作作品という目に見える形で残させる。

就職活動で活用できるポートフォリオを構築させ、学生自らに成長を実感させる。

3. 社会に貢献する汎用的能力と態度の育成

論理的思考力やメディアリテラシー、他者と協調・協働できるリーダーシップを養う。

技術力やマネジメント能力を活かし、現代社会で主体的にコンテンツを生み出せる人材を育てる。

生涯にわたる学修意欲を持ち、自己の可能性を追求しながら、他者の個性を尊重し共生社会の発展に寄与できる有為な人材を育成する。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	上館 美緒里	作成日	2026/5/19
----	-------------	----	--------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
情報処理入門	基盤教育科目	1	
プログラミング基礎Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
情報科教育法Ⅰ	資格課程科目	3	
情報メディア数学Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
専門ゼミⅢ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
情報システム特別演習 A	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
情報科教育法Ⅱ	資格課程科目	3	
情報デザイン	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミⅡ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミⅣ	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
卒業制作・論文Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
プログラミング基礎Ⅱ	専門教育科目（放送・メディア映像）	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
情報システム特別講義 B	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	

2. 理念

現代社会は世界的に情報化が進んできている一方で、単一の技術や知識で対応できない課題が増えている。例えば情報活用能力といってもただパソコンを操作できることではなく、状況に応じて手段や情報を取捨選択する力や機械化され効率化される中に置き去りにされてしまう人間の心理的な面も考慮した技術革新が必要となっている。加えて、国籍や障がいなど多様な背景を持つ学習者が質の高い教育にアクセスできる環境にありながら、実際には実現していない。これらの背景に対して、自身が専門とする遠隔教育・特別支援教育・国際開発の領域を生かして LMS や WEB・動画教材を活用し、開講するすべての授業においてオンライン学習対応を可能としている。

また、複合的な情報スキルを活用した PBL（問題解決型学習・プロジェクト型学習）型の手法を取り入れることにより、DPI から DP4 まで各学年の学修進度に応じたスパイラルカリキュラムとなるように構成し、学びの記録として WEB ページ型ポートフォリオの作成を行っている。これらにより能力や文化の差異によらない個別最適化された教育を目指している。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	放送・メディア映像学科	氏名	倉橋 農	作成日	2026/5/22
----	-------------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業制作・論文 I	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
自然言語処理	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナール I	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
専門ゼミナール III	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
卒業制作・論文 II	専門教育科目（放送・メディア映像）	4	
専門ゼミナール IV	専門教育科目（放送・メディア映像）	3	
電子工作基礎	専門教育科目（放送・メディア映像）	2-4	第3Q
電子工作応用	専門教育科目（放送・メディア映像）	2-4	第4Q
大学入門ゼミナール II	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

1, コミュニティにおける主体的な自立

学生は教育の対象であり、教師が導いていかなくてはならない存在ですが、それと同時に、すでに分別を持った成人でもあります。子ども扱いをせず、一人前の大人として対等な立場で接することで、学生が大人としてのマナーや自覚の涵養をうけ、自立した存在として育っていくことが可能となります。学生に勉学や他者との協働における主体的な参加を促すことも教員の大切な使命です。そのために、授業内外で「あなたはこの授業やコース、大学というコミュニティの一員である」ことを明示的・非明示的に示すことを心がけています。このことは、学生が全学共通ディプロマ・ポリシー DP3-1（学修姿勢）、放送・メディア映像学科ディプロマ・ポリシー DP3-1 を達成するにあたり欠かせない要素です。

2. 本質的な理解

これまでの文化的・環境から、多くの学生が学修について誤った理解を持っています。「間違い」を極端に忌避する態度や、「覚える」「教師の意図を読む」ことで前もって用意された「正解」を手にいれるのが学修だという考えから脱しなくてはなりません。そのためには、個々の細かいテクニックや知識を身につけるに留まらず、全体の本質や仕組みをモデルとして捉え理解することが必要です。

この本質的な理解を促すため、次のような方針で教育を行っています。1) 必要とされるテーマを自ら定め、その要点を把握する。2) それを他者に説明することを通じ、能力や知識を理解し自分のものにする。

これは、全学共通ディプロマ・ポリシー DP3-2（学修習慣）や DP4-1（課題解決力）を身につけ、さらに放送・メディア映像学科ディプロマ・ポリシー DP1-1, DP1-2, DP2-1 を得る際の重要なステップとなります。また、本学・本学科のディプロマ・ポリシーの全てについて、前提となる能力でもあります。

【添付資料】